学校番号	3030

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	政治・経済	単位数	１単位	年次	３年次（前期）
使用教科書	「詳述　政治・経済」（実教出版）						
副教材等	「最新政治・経済資料集２０２５」　（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

政治・経済の学習については、１年次に学習した公共の政治分野の知識をもとに、政治とも関連の深い経済分野について学習する。われわれの生活が政治・経済の様々な歴史や現在の政策の上に成り立っていることを実感するとともに、国際経済についても学び、日本の政治・経済、国際政治・経済のそれぞれが相互に密接な関係を持っていることを認識することを目標とする。さらに地球市民の一員として現在の日本および世界が抱える課題を認識し、その解決方法についても考察し、自分の考えを形成することも肝要である。このためには、普段より、様々なメディアを通じてもたらされる情報に多く接し、知識量を増やすとともに、その信頼性・重要性などを常に考え、冷静に判断する力を養うことが必要となる。また社会に起こる様々な事象に対して、常に興味・関心を持って接し、さらにその事象の、それぞれの立場（国家・民族・宗教等による）による位置づけや、様々な評価についても理解するよう心がけること。多様な価値観を学び、他者への理解を深めることが、同時に自己の考えを自ら検証し、客観性を獲得することにつながる。さらに国家の枠をこえた「人間の安全保障」の考え方についても考察を深めていく。

2　学習の到達目標

１年次に学習した公共や 2 年次に学習した経済の知識をもとに、国際経済分野の学習を行い、基本的な経済用語の意味を理解する。さらにこれらの知識を用いて、国内や国際社会における経済の諸課題を認識する。さらに国内政治・国際政治と、国内経済・国際経済が相互に密接に関係していることを実感し、その課題の解決には、政治・経済についての総合的な評価や判断が必要であることを理解し、多様な価値観をふまえて冷静に判断、考察をする態度を身につける。書物・新聞・テレビ等の政治・経済分野についての記述や表現について、その基本的な内容を理解した上で、さらなる考察や自身の意見をまとめる力を身につけることもめざす。人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代社会と人間に関わる様々な文献、メディアなどの情報、教科書や資料集などの教材を用い、基本的な社会のしくみや現代社会の諸課題についての知識を身につけ、正確かつ有用な情報を適切に選択し、効果的に活用する技能を身につけている。	現代の諸課題について、広い視野に立って、多面的・多角的に考察し、社会の変化や日本において得られる情報と諸外国において得られる情報に差があることも考慮に入れ、公正かつ客観的に判断し、自分の意見や価値観を形成し、その意見や判断の根拠などを明確かつ適切に表現している。経済活動と福祉の向上との関連についても多面的・多角的に考察し、表現できている。	現代の諸課題について、関心を持ち、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的な社会の実現に向けて参加、協力する態度を身につける。さらには世界の平和や個人の尊重が大切であるという意識を持ち、人権意識を高く持ち、自分にできることは何かを主体的に考える態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	現代の国際経済	商品・資本の流れと国際収支 国際経済体制の変化 グローバル化と世界金融 地域経済統合と新興国の台頭 経済協力と人間開発の課題	a:国際経済に関して基本的な知識を有し、その歴史について理解している。 b:現代の国際経済のしくみがなぜ取り入れられたかを多面的に考察・表現することができる。 c:積極的に意見を出し合い、国際的な経済協力のありかたについて常に関心を持ち、様々な資料を考察に活用しようとしている。	定期考査	定期考査 ワークシート	提出ノート 観察
	国際社会の諸課題の探求	紛争の解決に向けた国際社会の取り組み グローバル化に取り組む人々の生活や社会の変容 国際経済格差の是正と国際協力	a:過去の紛争や格差の是正について基本的な知識を身につけ、それらを解決するためにどのような努力がなされてきたか等、歴史的経緯についても理解している。 b:国際関係の変化が日本に与えた影響について思考することができる。 c:国際社会において求められる協調について、自分なりの考えをまとめ様々な意見についても考察している。	定期考査 ワークシート	定期考査	課題 提出ノート 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度